※令和３年度以前入学生用

学校番号	T3014

令和５年度　工業科

教科	工業科	科目	自動車実習	単位数	８単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

自動車整備の実技を専門的に行う整備士となることができるような実習を行う。

2　学習の到達目標

自動車のエンジン、シャシの各装置の基本的な整備ができることを念頭に、3 級自動車整備士試験に合格できる力をつけることを目標とする。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	自動車整備実技に関する基本的な知識や技術に関心を持ち、意欲的に探究するとともに、学ぶ態度を身に付ける。	自動車整備実技に関する知識や技術に課題等を見つけ、自ら思考・判断し、創意工夫して問題解決する能力を身に付ける。	自動車整備実技の基本的な構造・機能に関する技能を習得する。	自動車整備実技の基本的な構造・機能に関する知識を習得し、実際に活用できる能力と態度が身に付いている。
評価方法	各単元について関心を持ち、積極的に学ぶ意識があるか。	創意工夫を凝らして思考し、事象や内容から正しい選択を判断し、その理由を自らの言葉で表現することができるか。	観察や実技の技能を身に付けて、安全面にも注意をはらって作業に取り組む事ができるか。	各単元の趣旨を理解し、実際に活用することができるか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	エンジン実習	本体の点検 本体の分解 本体の整備 点火装置、燃料装置、潤滑装置、冷却装置、吸排気装置の整備 始動試験、負荷出力試験、コンプレッション圧試験、負圧試験 回転数、点火時期 潤滑油粘性試験	○	○	○	○	a:エンジンについて関心をもつか。 b:知識をもつことに、意欲的になっているか。 C:エンジンを理解し、正確に実習を行うことができるか。 d:整備士の試験問題で活用できるか。	課題プリント 整備士試験問題過去問 実技
	電装実習	バッテリの整備 電気装置の整備	○	○	○	○	a:電装について関心をもつか。 b:知識をもつことに、意欲的になっているか。 c:電装を理解し、正確に実習を行うことができるか。 d:整備士の試験問題で活用できるか。	課題プリント 整備士試験問題過去問 実技
後期	シャシ実習	動力伝達装置の整備 かじ取り装置の整備 ブレーキ装置の整備	○	○	○	○	a:シャシについて関心をもつか。 b:知識をもつことに、意欲的になっているか。 c:シャシを理解し、正確に実習を行うことができるか。 d:整備士の試験問題で活用できるか。	課題プリント 整備士試験問題過去問 実技

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。